



変更内容

Version: v5.1.13

# 変更内容一覧

1. リアルタイム実行プランの追加
  - 新機能①：kintoneのWebhookでデータ編集フローを実行
  - 新機能②：APIでデータ編集フローを実行
  - 新機能③：複数のデータ編集フローを1グループとして順次実行できる
  - 新機能④：同一の実行単位の同時呼び出しを制御できる
  - 参考：スケジュール実行プランとリアルタイム実行プランの比較
2. その他改善項目と変更点
  - 設定ファイルのインポート／エクスポート改善
  - レコード番号の更新キー指定の改善
  - 出力方法「再作成」選択時の改善
3. 不具合修正
4. サービス利用規約の改訂


# リアルタイム実行プランの追加



## リアルタイム実行プランの追加

既に提供している、スケジュール実行は予め設定された日程でデータ編集フローを実行でき、予実管理などの定期集計が必要な業務で多くのお客様にご利用いただいております。

その一方で、お客様からは複雑で多様な集計要件への対応と集計処理の設定のし易さといった、krewData本来の良さそのままに、レコードを登録した時やプロセス管理でステータスを更新した時などユーザー操作と連動してリアルタイムに集計を実行したいという多くの要望をいただいております。このリアルタイム実行プランはそのようなユースケースに対応できる待望のkrewData新プランです。

					
スケジュール実行プラン			リアルタイム実行プラン		
スケジュール数	年額	月額	リアルタイム実行フロー数	年額	月額
3個まで	¥120,000	¥12,000	3個まで	¥180,000	¥18,000
10個まで	¥220,000	¥22,000	10個まで	¥290,000	¥29,000
30個まで	¥350,000	¥35,000	30個まで	¥520,000	¥52,000
100個まで	¥500,000	¥50,000	100個まで	¥760,000	¥76,000

※既にkrewDataをご契約済みのお客さまのライセンスは、スケジュール実行プランに該当します。

※リアルタイム実行プランの料金の考え方については、リリース後にWebサイトで公開する内容をご確認ください。

# kintoneのWebhookでデータ編集フローを実行

kintoneのWebhookからkrewDataのデータ集計を実行できます。Webhookがサポートするkintoneアプリのユーザー操作と連動して集計できるため、業務間のデータ整合性を担保できます。

## Webhook

レコードの追加  
レコードの編集  
レコードの削除  
コメントの追加  
ステータスの更新  
(プロセス管理)

kintone

Webhookによる  
通知

通知を受信した  
タイミングで実行



## 在庫引当・出荷での活用例

アプリ：出荷管理

引当 ▼ 現在の作業者を変更 ▼

次のステータス  
引当

受注日  
2020/4/20

キャンセル 実行

受注数	出荷日	出荷数
		200



ステータスの更新

レコード  
自動追加

アプリ：在庫管理

入出荷日	品目名	引当数	出荷数	有効在庫数	実在庫数
2020/4/1	品目 A		100	450	450

アプリ：在庫管理

入出荷日	品目名	引当数	出荷数	有効在庫数	実在庫数
2020/4/1	品目 A		100	450	450
2020/4/20	品目 A	200		250	450



ステータスの更新

レコード  
自動追加

アプリ：出荷管理

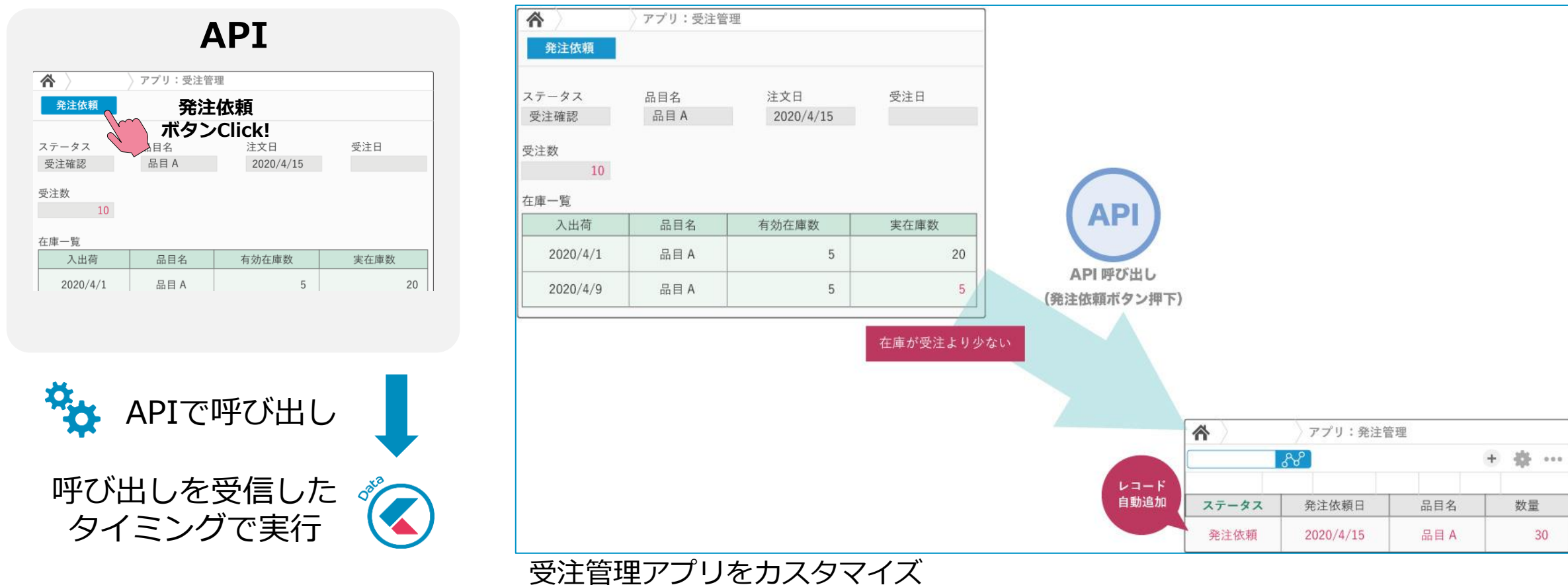
入出荷日	品目名	引当数	出荷数	有効在庫数	実在庫数
2020/4/1	品目 A		100	450	450
2020/4/20	品目 A	200		250	450
2020/4/25	品目 A		200	250	250

出荷管理アプリにWebhookを設定

※Webhookの詳細については[kintoneヘルプ](#)をご参照ください

# APIでデータ編集フローを実行

APIでkrewDataのデータ集計を実行できます。Webhookがサポートする以外のユーザー操作とも連動して集計できるため、より柔軟にユースケースに対応できます。



※APIでデータ編集フローを実行するにはカスタマイズが必要です

# 複数のデータ編集フローを1グループとして順次実行できる

リアルタイム実行では、業務間のデータ整合性を担保しやすいように複数のデータ編集フローを1グループ（実行単位）として順次実行できます。

設定ファイル
スケジュール実行
リアルタイム実行

**1. 実行単位：** フローを実行する契機となるアプリの設定。1つの実行単位に対して1つのアプリを設定できます。

+ 実行単位を追加

実行単位	有効	実行結果	呼び出し元アプリ	実行方法	ログ出力先アプリ デフォルト: 実行ログ	更新日時	
A.在庫管理(入荷処理) - Webhook	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	入荷管理	Webhook	実行ログ	2020-09-24 11:58	🗑️ 🔄
B-3.在庫管理(在庫引当・出荷) - Webhook	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	出荷管理	Webhook	実行ログ	2020-09-16 15:01	🗑️ 🔄
C.在庫管理(不定期定量発注) - Webhook・グループ実行	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	出荷管理	Webhook	実行ログ	2020-09-24 11:58	🗑️ 🔄
D-1.購買業務(発注) - 任意実行	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	受注管理	Webhook	実行ログ	2020-09-16 15:01	🗑️ 🔄
D-2.購買業務(納品) - Webhook	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	発注管理	Webhook	実行ログ	2020-09-24 12:00	🗑️ 🔄
マスタ管理 - Webhook	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	顧客管理	Webhook	実行ログ	2020-09-24 12:01	🗑️ 🔄
受注伝票登録・更新 - Webhook	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	見積	Webhook	実行ログ	2020-09-24 12:02	🗑️ 🔄
顧客管理 - Webhook	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	案件管理	Webhook	実行ログ	2020-09-24 12:02	🗑️ 🔄
経費予算管理(実績集計) - Webhook (出張/交通費)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	出張/交通費	Webhook	実行ログ	2020-09-24 12:02	🗑️ 🔄
経費予算管理(実績集計) - Webhook (支払/立替)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	支払/立替	Webhook	実行ログ	2020-09-24 13:01	🗑️ 🔄
営業予定管理(実績集計) - 任意実行	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	実績管理	Webhook	実行ログ	2020-09-24 15:52	🗑️ 🔄

実行単位（集計処理グループ）

**2. データ編集フロー：** 実行単位で実行するデータ編集フロー。1つの実行単位から複数のフローを順番に実行することができます。

+ データ編集フローを追加    🔄 スケジュール実行のフローを利用    📄 フローをコピー

	データ編集フロー	有効	実行結果	開始日時	終了日時	更新日時	
☰	1  出荷レコードのステータスを更新 → 在庫引当/出荷数の調整	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>			2020-10-19 12:01	🗑️ 🔄
☰	2  出荷後の在庫数 < 発注点 → 自動で発注依頼	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>			2020-10-19 12:02	🗑️ 🔄

順次実行されるフロー

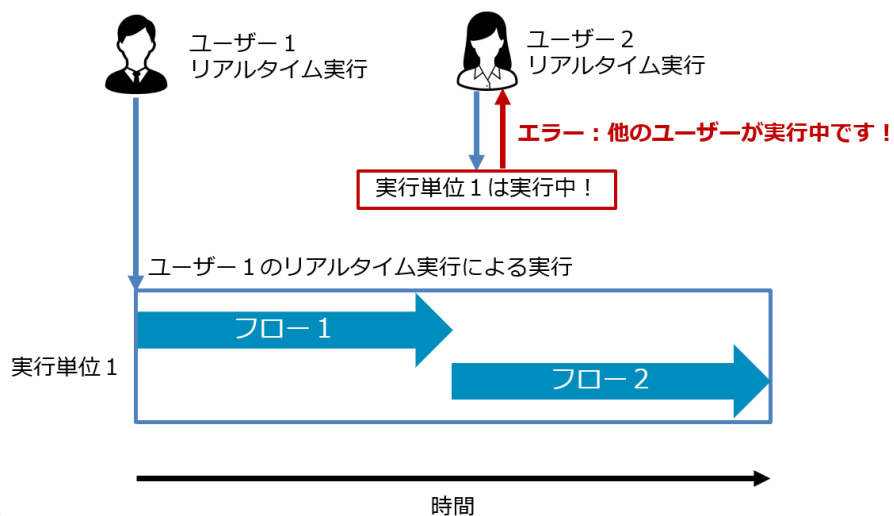
在庫出荷後に適宜在庫補充の発注を依頼する

## 同一の実行単位の同時呼び出しを制御できる

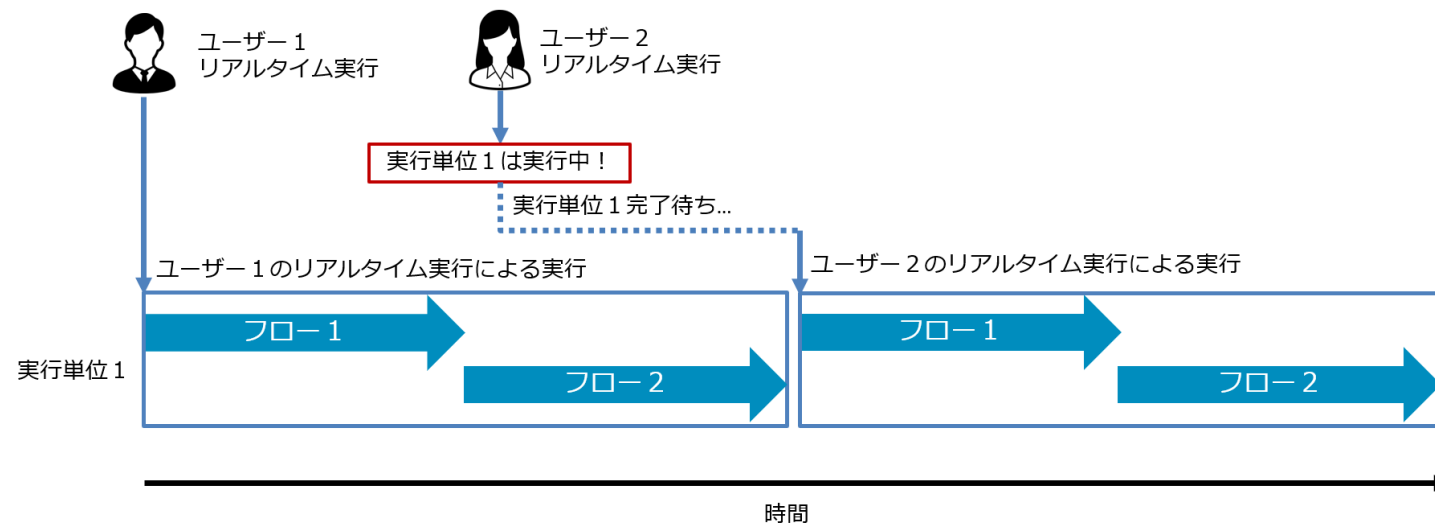
リアルタイム実行では、ユーザー操作に連動した呼び出しができるため、実行頻度も高くなります。同じ実行単位を複数のユーザーが同時に呼び出す場合もあり、データの整合性を損なうリスクがあります。

そのリスクヘッジを目的に、リアルタイム実行では同時呼び出しを許可するかしないかユーザー側が設定できます。

### 同時実行を許可しない場合



### 同時実行を許可する場合



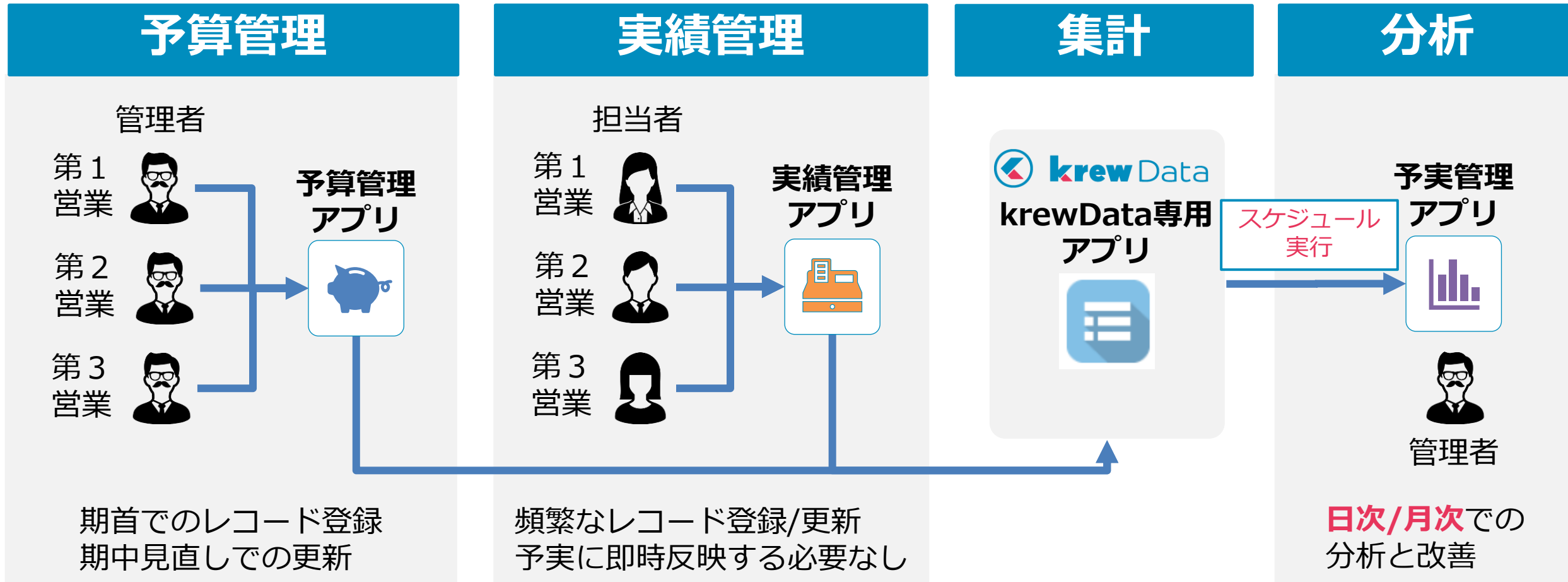
※待ち時間が一定時間経過するとタイムアウトし、その呼び出しはキャンセルされます



# スケジュール実行プランとリアルタイム実行プランの比較

	スケジュール実行	リアルタイム実行
集計方法	スケジュール	Webhook API呼び出し
処理レコード数上限	200,000レコードまで	10,000レコードまで
グループ実行	不可	可能
同時実行制御	不可	可能
集計対象のレコード	対象業務に関連する レコード全件	操作したレコードに関連 する特定のレコード
集計タイミング	日次・月次など	レコード追加／更新
集計頻度	低い	高い
対象業務の特徴	定期集計が必要	即時集計が必要
代表的な業務	予実管理 請求管理	在庫管理 経費予算管理

# 予実管理における集計



大量のレコードを集計し、その集計結果を使って定期的に管理者が状況把握・分析するような業務にはスケジュール実行が向いている

# 在庫管理における集計

: 担当者の操作  
 : リアルタイム実行

## 出荷管理

担当者



出荷管理  
アプリ



①ステータスを引当に更新

ステータス	品目名	受注日	受注数	出荷日	出荷数
引当	品目A	2020/4/20	200		

②ステータスを出荷に更新

ステータス	品目名	受注日	受注数	出荷日	出荷数
出荷	品目A	2020/4/20	200	2020/4/25	200

## 集計



## 在庫管理

在庫管理  
アプリ



操作①に連動して関連する品目の有効在庫数を即時集計

入出荷日	品目名	入庫数	引当数	出荷数	有効在庫数	実在庫数
2020/4/15	品目A	270			450	450
2020/4/20	品目A		200		250	450

操作②に連動して関連する品目の実在庫数を即時集計

入出荷日	品目名	入庫数	引当数	出荷数	有効在庫数	実在庫数
2020/4/15	品目A	270			450	450
2020/4/20	品目A		200		250	450
2020/4/25	品目A			200	250	250

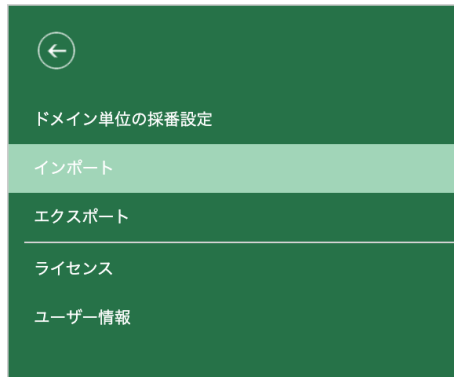
関連する業務間の整合性を担保するために、**担当者**の**操作**をきっかけにし、**特定**のレコードを**即時**集計する必要がある業務にはリアルタイム実行が向いている

# その他改善項目と変更点



# 設定ファイルのインポート/エクスポート改善

設定ファイルのインポート時に、インポート方法を「再作成」か「追加」から選択できます。「追加」では、既存のフロー設定を維持し、設定ファイル内のフロー設定を追加できます。また、インポート/エクスポート時に必要なフローを任意選択できます。



## インポート

1. インポートするkrewData設定ファイル（JSON）を選択してください。

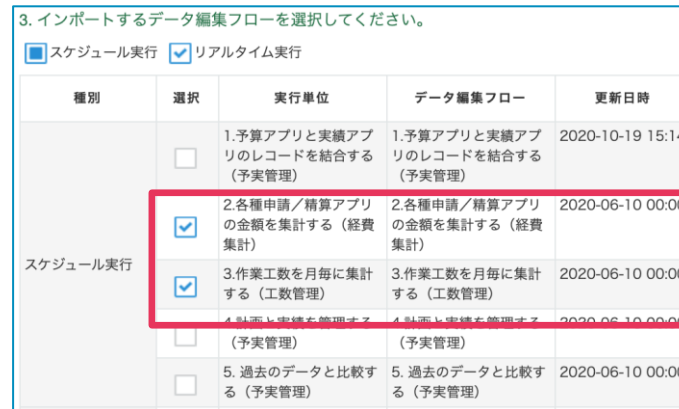
参照

2. インポート方法を選択してください。

- 再作成：保存されているデータ編集フローをすべて削除し、選択した設定ファイルのデータ編集フローをインポートします。
- 追加：保存されているデータ編集フローに設定ファイルのフローを追加します。

3. インポートするデータ編集フローを選択してください。

インポート方法を  
再作成・追加から選択できる



必要なフローを任意選択

インポート

# レコード番号の更新キー指定の改善

レコード番号を更新キーに指定する場合に、出力アプリ自身のレコード番号以外のフィールドを指定できます。アプリ間の関係性をレコード番号で管理しているようなケースにもレコード番号を更新キーに指定し、柔軟に対応できます。

1-予実一覧

アプリを選択

更新 再生成 追加 更新または追加

アプリのフィールド データ編集フローのフィールド

レコード番号

拠点

(指定しない)

レコード番号

拠点

これまで、レコード番号を更新キーにした場合は、レコード番号しか指定できなかった

1-予実一覧

アプリを選択

更新 再生成 追加 更新または追加

更新：指定された更新キーにより結果データのレコードを一意に識別し、

アプリのフィールド データ編集フローのフィールド

レコード番号

拠点

予算

実績

(指定しない)

拠点

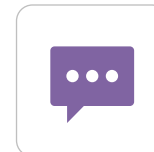
予算

達成率

実績

アップデート後はレコード番号以外のフィールドも指定できる

## 出張申請



予定表のレコード番号をワーク用フィールドに保持

承認状況	担当者名	申請種別	開始日時	終了日時	予定表アプリのレコード番号
承認済み	A男	出張	2020/9/1	2020/9/1	1

承認状況を更新

## 予定表



レコード番号とワーク用フィールドの値を突合して更新

レコード番号	担当者名	予定種別	開始日時	終了日時	承認状況
1	A男	出張	2020/9/1	2020/9/1	承認済み

## 出力方法「再作成」選択時の改善

出力方法「再生成」は、出力先アプリの既存レコードを全て削除し、データ編集フローの集計結果を新規レコードとして追加します。この動作はアプリ内のレコードを再構築するケースなどに利用できますが、誤って動作させた場合には、意図せずレコードを削除してしまうリスクもあります。

そのため、出力方法の選択エリアには、選択中の方法がどのような動作でレコードを更新・追加するか、動作説明をラベル表示するようにしました。

また即時実行時（プラグイン設定からの手動実行）には、確認メッセージを表示し誤って再作成を実行するようなケースを防止できるようにしました。

1-予実一覧 | 設定 | プレビュー | 自動採番

1-予実一覧

アプリを選択

更新  再生成  追加  更新または追加

再生成：出力アプリに存在するすべてのレコードを削除し、データ編集フローの結果データを出力します。

出力動作をラベル表示

アプリのフィールド	データ編集フローのフィールド
拠点	拠点 <input type="text"/>

確認

出力方法に「再生成」を選択しています。「再生成」は出力アプリに存在するすべてのレコードを削除し、データ編集フローの結果データを出力します。データ編集フローを実行しますか？

はい いいえ

即時実行の際には確認メッセージを表示

# 不具合修正

- 不具合修正
  - [\[出力アプリ\]でテーブルレコードの出力順序を6件以上設定できない](#)
  - 軽微な不具合を修正